



柳沢中学校だより

朱雀の翼

西東京市立柳沢中学校
校長 浅野 周子
電話番号 042-463-5014
FAX番号 042-462-3104
令和5年10月19日第6号

感性を磨いて創造力を身に付ける

とてもとても暑かった夏から、朝夕と日中の気温の差が大きくなり、季節が秋にうつってきました。先週、昇降口の金木犀(きんもくせい)の花がぱちんと咲き、いい香りがしていましたが、感じましたか？

毎年、この時期は、朝夕の涼しい風や空気のおいさが違ってきて「あ、秋が近づいてきたな」と思います。そして空を見上げると雲の様子も夏とは違ってきて、空が高く感じたりします。**五感**(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を使ってちょっとした季節の移り変わりを感じる感性を磨いていきましょう。感受性の強い、中学生の今だからこそ、**感じる力**がより磨かれ、創造力につながっていきます。スポーツの秋、読書の秋、勉強の秋、食欲の秋、いろいろなことに取り組みやすい秋は、感性を磨くにはとてもいい時期です。

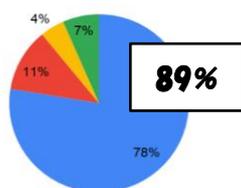
道端に咲く花を見て「きれいな紫色だね」とか、街で流れる音楽を聞いて「うきうきしたくなるね」というように小さな出来事に、感覚をとぎすませてみると、感性が豊かになっていきます。

感性があまり豊かでないと思う人は、物事を理解するのに「常識」から入っているかもしれません。違う視点で物事を見るのが難しく、何か変化が欲しいときにアイデアが浮かばない傾向にあるそうです。

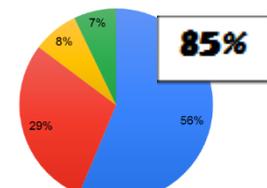
だから、「感性が豊かな人」は、普段から自分の五感を通してさまざまなことをとらえているので、ふとした時に素敵な発想をするのでしょう。

生徒学校満足度アンケート結果

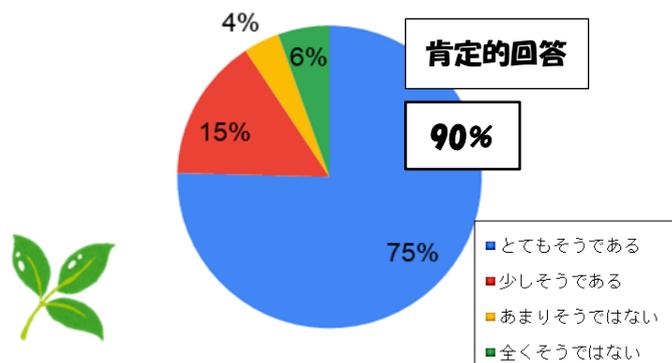
【1. 毎朝、朝食を食べている】



【17. みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがある】



【11. いじめはどんな理由があってもいけない】



20項目の一部抜粋ですが、いじめはどんな理由があってもあってはならないことです。10%の人(16人)が理由があれば、いじめをしてもいいと考えていることに大変衝撃を受けました。いじめは、犯罪です。繰り返し話していかなければならないですね。

「新しい生徒会役員」が決まりました

「新柳沢中生徒会」が発進しました。9月下旬の生徒会選挙を経て、10月2日の朝礼で任命式を行いました。6人それぞれが柳沢中をよりよくしようという熱い思いをもち、立派に立候補演説をしていました。

皆さんは、自分が選んだ人に柳沢中を任せっきりにするのではなく、その人を選んだことに責任をもって全力で協力しなければなりません。

私が皆さんに伝えたいことは、「誰かに何かをしてもらおう」という考え方はちょっと違うということです。みんなが目指していること、well-being 幸福になること、学校で言うならば生徒みんなが居心地よい学校づくりです。選挙公報を読んでみると、どの立候補者も意気込みを述べていてすばらしかったです。みんなが居心地がよい学校づくりの実現には、みんながどのようにしていったらいいか、1人1人がしっかり考え、生徒会がリーダーシップをとって実現していくことを期待しています。



人のために・・・動いてみる

今年度、ボランティア推進委員会を立ち上げ、

先生が担当し、「あいさつ運動」「花壇プロジェクト」「地域清掃」「防災ボランティア」などを実施しています。「人のために動こう」という思いをもつ人が多ければ多いほど、みんなが住みやすい社会になります。まずは、柳沢中をさらに居心地よい学校に・・・



大学生による学習支援

10月上旬から教育実習生第2弾として、4人の実習生が教員を目指して実習に取り組んでいます。また、武蔵野大学からインターンシップのために3人、授業中の学習支援のために近隣の大学生が3-4人と柳沢中学校には、10人くらい的大学生が来てくださっています。大変ありがたいことです。困ったときは、生徒の皆さんも積極的に質問してみましょう。



響き合った合唱コンクール

10月14日 全校揃っての合唱コンクールが開かれました。今回も1人1役を担い、みんなで創り上げた思い出に残る行事になったのではないのでしょうか。

今年の合唱コンクールでは、昨年度できなかった学年合唱を実施し、生徒の皆さんにその醍醐味を味わってほしいと思っていました。そのためには、コロナウイルスやインフルエンザなどの感染拡大予防対策の徹底について、さまざまな検討を重ねました。保護者の参観については、1家庭2名までというお願いにご理解をいただき、ありがとうございました。生徒の皆さんにも睡眠時間と栄養をしっかりとるように声掛けをしてきました。1人1人が健康管理に意識を高くもって取り組んできたからこそ、学級閉鎖もなく、全校が揃って実施できたこともよかったです。

さて、今年の合唱コンクールのスローガンは、「共鳴かける響命イコール史上最強に響き合う→今年もがちです」です。本気と書いて、がちと読む。「がち」の語源を手繰ってみると、「がち」というのは、相撲の立ち会いで、ぶつかり合う様をガチンコといい、勇敢に力強くぶつかる相撲が語源となって、なれ合いではない、真剣勝負の相撲という意味になります。

しかし、けいこで鍛えた大きな力士がぶつかり合うと相当の衝撃があり、心身の痛さを考えると、ダメージが大きそうです。それほど、本気で、真剣に取り組む合唱コンクールへの意気込みが感じられるスローガンになりました。

先生による講評では、放課後に歌う人たちや下校時に歌いながら帰る人が多い柳沢中とお褒めの言葉がありました。「1年生は変声期の対処法のアドバイスに、素直にみんながやっていた。1年生はとても元気に歌っていてよかった。2年生は、少ない人数ながらも1人1人がいいものをもって、学年の仲が良いことが合唱に反映された。3年生は、最初から気合が違って練習の時から正しい音程にこだわり、とても高いレベルの合唱になった。1、2年生にとって今後のよい目標になったのではないか。」とおっしゃっていただきました。

確かに、コンクール直前の2-3日で、歌声のクオリティーがぐっとあがり、校内にすばらしい歌声がこだまし、心地よく響いていて驚きました。それぞれのクラスの本気の合唱が影響し合って、柳沢中の合唱のクオリティーが高く上がったと感心しました。

美しい音楽は美しい心を育みます。

いつも話してきた、行事で大きく成長できるという話、クラスで同じ目標に向かってみんなと頑張る過程を大切にしたいという話。今回はどうだったのでしょうか。1人で歌うのではない、クラスの人々と一緒に歌った後、どのような気持ちになりましたか。その気持ちを大切にしてください。みんなの心が本当に同じ方向に向き、心が一つになったからこそ、すばらしい合唱が作りあげられたのだと思います。

また、新しい柳沢中の文化が創られたことを大変喜ばしく思いました。



PTAコーラスハーモニーアイさんと教職員による合唱